



中澤校長の案内で、過去に寄贈した旋盤を視察する兵神装備の中川さんら

モノ作り人材、育成支援

兵神装備が北星高校などに寄付

高月町東物部に開発・製造拠点を持つ産業用ホンプメーカー「兵神装備(神戸市)」は6日、長浜北星高校と長浜北星高等養護学校に金属加工の材料など44万円相当を寄贈した。

同社は地域貢献の一環でモノづくり人材の育成のため、地域の高校、大学、高専などの教育支援に取り組んでいる。総合学科メカトロニクス系列がある長浜北星高校には創業50周年記念事業とし

て2018年に金属を加工する旋盤3台を寄贈している。寄贈にあたっては同社に就職した卒業生が後輩のために機械を調整整備した。他にも金属加工のフライス盤2台を寄贈し、工具や材料の提供、指導者の派遣で、モノ作りに熱中する高校生の学びを応援している。

この日は旋盤とフライス盤に使用する金属材料を寄贈した。同校では3年の村居勇紀さんが今年

7月に旋盤2級技能検定に挑戦する予定で、練習に使用する金属材料の調達が課題となっていた。また、長浜北星高等養護学校には全国障害者技能競技大会(アピリンピック)の木工種目に出場する生徒のため、高額で入手が難しい朴の木の板を練習用にプレゼントした。

校長室で行われた贈呈式には同社から常務執行役員の中川丈司さんから3人が出席。中川さんは生徒にモノ作りへの関心を持つてもらい、滋賀の企業に就職し、その技で社会に貢献してほしいと、

中澤成行校長に目録を手渡した。中澤校長は「今回も高額な寄付をありがとうございます。技能検定アピリンピックに向けて生徒たちは頑張ってください」と話していた。

中川さんから「旋盤2級、合格してね」と声をかけられた村居さんは「旋盤は得意でなかったが指導のおかげで昨年3級に合格できた。今年も頑張りたい」と語った。7日から毎日、放課後に特訓に励み、難関とされる2級合格を目指す。

身近なニュースは
滋賀夕刊新聞社へ